

# 教区通信 ふくおか

2021(令和3)年11月1日発行

Vol.135

発行

「御同朋の社会をめざす運動」  
福岡教区委員会



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン

## 結ぶ絆から、広がるご縁へ

-From tying bonds to great encounters-



研修会の模様は教区  
You Tubeチャンネル  
で公開しています

▲ 福岡教区仏教壮年「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 研修会  
(10月13日、ご講師や一部の参加者はオンラインで参加しました)

### P4～P5 コロナ特集 福岡おにぎりの会に聞く

P2～P3

時局問題対策協議会 第2回公開講座  
「フードバンクの活動から見る現在」

P6 中央委員会報告

P7 教堂・教区「親鸞聖人報恩講」のご案内

P7 法話「私を抱き続けてくださるおやさま」

P8 行事予定・編集後記

## 福岡教区時局問題対策協議会公開講座

## 「こども食堂を支える

## フードバンクの取り組み」

大谷 清美(認定NPO法人チャイルドケアセンター代表理事)

## 一、フードバンクとは

フードバンクとは、品質に問題がないにもかかわらず、市場で流通できなくなった食品を企業や個人から寄贈していただき、福祉施設やこども食堂、食材を求めている方に無償で配る活動です。日本では二五五〇万トンの食品廃棄物が出ており、このうち、まだ食べられるにもかかわらず廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は、六一二万トンとされています。

この「食品ロス」の削減や食材を必要としている人の橋渡しをしているのがフードバンクなのです。(国民一人が毎日一個のおにぎりを処分していることとなります)

## 二、こども食堂に特化したふくおか筑紫フードバンク設立へ

二〇一五年十二月、初めてこども食堂を実施した際、全国、地域の方から、お米や野菜など本当にたくさんのお食材が届き、一日では使いきれませんでした。その状態を見て、すべての子ども達

が安心して過ごすことができる居場所「こども食堂」の継続的な運営を支援するには、個人や企業からの寄贈される食品を管理し、届けるための活動が有効であると考えようになり、趣旨に賛同する支援者のご協力を得て、二〇一六年七月「ふくおか筑紫フードバンク」事業を立ち上げました。

チャイルドケアセンターは、ふくおか筑紫フードバンクの事務局として、適宜寄付を行う「個人及び企業」または、定期的に寄付を行う「協力会員(企業パートナー)」から、食品等の寄付の受付・保管を行い、「利用会員」(「こども食堂」)に届けています。

## 三、コロナ禍のこども食堂を支えるフードバンク

世界的なコロナウイルス流行により、学校の閉鎖やイベントもすべて中止になりました。そんな中でも、居場所として開けられなかったこども食堂は、食材配布(フードパントリー)やお弁当を配る(宅食)など、形を変えて動きを止めませんでした。そんなこども食堂に私たち「ふくおか筑紫フードバンク」は、地域の方の見守りの中で安心して過ごせる、温かい食事、時には様々な遊び、学び等の体験ができる、そんな居場所が地域にたくさんあるような地域社会をめざし、その実現のため、趣旨に賛同する個人、企業及び行政等と連携して、子ども達の居場所である「こども食堂」に「食品」を提供するフードバンクに取り組みます。

## 福岡教区時局問題対策協議会公開講座

## 「こども食堂の役割と

## それを支えるフードバンク」

筑紫女学園大学 人間科学部 准教授 大西 良

## 一、こども食堂の現状

NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえの調査によると、全国のこども食堂は四九六〇カ所を数えます(二〇二〇年十二月現在)。小学校数に対するこども食堂の割合は約二十パーセント(五校に一カ所)にまで拡大しています。まさにこども食堂が地域で子どもを支える『社会的インフラ』になりつつあると言えます。

しかしながら、こども食堂もまたコロナ禍の影響を大きく受けています。

二〇二一年六月に福岡県こども食堂ネットワークが実施した実態調査によると、コロナ禍で以前とは異なる方法での活動(例えばフードパントリーやお弁当の配布など)を余儀なくされていると回答したこども食堂運営団体は全体の六割(八十五団体中五十団体)にのぼり、また活動を休止しているこども食堂運営団体も全体の二十五パーセント(八十五団体中二十一団体)となっています。

## 二、様々な役割を担うこども食堂とそれを支えるフードバンク

こども食堂は、子どもの居場所であり、子どもを中心とした多世代交流の場として、

## 一、地域活性化

## 二、貧困対策

## 三、孤食(個食)防止

## 四、虐待予防および子育て支援

## 五、シニアボランティア等の生きがいづくり

などの役割を担っているとされます。また、最近では災害が発生した際の支援拠点としての役割を持つとも言われています。

このように、こども食堂は様々な価値をもつ社会資源(リソース)になっています。

そしてそのこども食堂を支えているのが「フードバンク」です。近年、フードバンクの数も増えています。まさに今、『支える人を支える仕組み』も社会で広がっています。

「無縁社会」と言われる現代日本において、こども食堂は人が人とながり続けようとする場であり、人の生きづらさに寄り添う場であると思います。また、こども食堂を支えるフードバンクは、『縁の下の力持ち』として人の暮らしを支えるセーフティネットの役割を担い、地域と未来をつくる社会活動になっています。

# コロナ特集 福岡おにぎりの会に聞く



板東 資朗さん  
(NPOホームレス支援  
福岡おにぎりの会理事)

新型コロナウイルス感染症の流行により私たちの生活は一変し、経営状況の悪化や解雇により生活に困窮する方もいらっしゃいます。そうした中で、ボランティア活動や支援を必要とされる方々の生活にも変化が生じているようです。今回はNPOホームレス支援福岡おにぎりの会理事で西南学院中学校・高等学校宗教部長を務められております坂東資朗さんにお話をうかがいました。

**Q** おにぎりの会では炊き出し活動を行っているとのことですが、どのような活動をしているのですか？

**A** 福岡おにぎりの会は、福岡市内で路上生活を余儀なくされているホームレス状態にある人たちを支援することを願って一九九六年に発足しました。毎月第一金曜日の夜に九コースに分かれて行っている「夜回り」―パトロールを兼ねた炊き出しと、年3回の季節イベントや衣類等物資の提供、生活保護受給や債務整理などの相談等を行っています。路上から居

宅生活に移った人が再び孤独にならないよう訪問したり、「アカシアの会」という交流活動を毎月実施し、年度ごとの総会時に亡くなった仲間を追悼する「偲ぶ会」を持つことも大切に行っています。また、ホームレス問題に関する情報・課題を共有するため機関紙「おにぎり」の発行や学校や病院などでの講演・授業への講師派遣、ホームページやLINEでの発信も続けています。

**Q** 新型コロナウイルスが流行して一年以上たちましたが、炊き出しを通して感じるホームレスの方々の変化などがあればお聞かせください。

**A** 二〇二〇年の四月以降、夜回りを毎月二回（第一、第三金曜日）に増やしました。昨年十一月ごろまでは大きな増加はなく毎回約百人程度の方にお会いしていましたが、年末から増え始め、今では多いときは百五十人近くの方におにぎりをお渡ししています。

「昼の公園にね、大きな引つ張るかばん持って、座つとる人が増えたよ。三十代の若い人。東京、大阪、広島、鹿児島、岡山―いろんなところから来とる。この前もらったパンあげたらね、よろこんで食べてたよ。」



▲小さなボランティアさんにおじさん達も笑顔

A

Q

夜回りへの参加を希望される方を募集しています。夜八時からカトリック美野島司牧センターでおにぎり、ゆで卵、マスク等お届けするものをお届けする作業を始め、九時ごろコースに分かれて出発します。ボラン

私が担当している公園で会うおじさんは、自分が受け取った食べ物を自分では食べず「新顔さん」に配っている様子。「食べられんつらさは、おれたちようわかつとるもん。ほんとかわいそうよ。先生は学校があるから、昼間の公園には行けんやろ、おれができることあつたらするよ。なんとかしてやらんとね。」ステイホーム、在宅勤務が広がり長期化する中、閉店を余儀なくされた飲食店の店員、建築計画が延期や中止となった職人さん、人員削減の対象とされた非正規雇用の人、特に仕事を求めて福岡に来る若者から中年層の方が増えています。

おにぎりの会の活動に参加してみたいと思いましたが、参加するにはどうすればいいでしょうか？



▲夜回り準備—豚汁用カップ、おはしをセット

A

Q

夜回りへの参加を希望される方を募集しています。夜八時からカトリック美野島司牧センターでおにぎり、ゆで卵、マスク等お届けするものをお届けする作業を始め、九時ごろコースに分かれて出発します。ボラン

大きく二点あります。ひとつは衣類や毛布等物資のご提供やご寄付等により活動をお支えいただくことです。どうしても物が必要かにつきましては、ホームページを参照いただくか、事務局までお問合せください。

もう一つは情報提供いただくことです。路上生活をされている方を見かけた際、直接その方に声をかけることができなくても、服装や年代、見かけた場所や時間帯など教えていただければ関係機関と協力して現地におたずねすることが可能です。こちらにつきましても事務局までご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

ティア登録、留意いただきたい事項の説明をお受けいただくことをお願いしていますので、事前に事務局にご連絡の上おいでください。夜回りの日の午後ゆで卵や豚汁づくりなどの準備をして下さるボランティアもありますが、毎回内容・必要人数が変わります。こちらも事前に事務局に電話でお問い合わせください。いずれの場合も感染状況によつてご参加いただけない場合がありますので、当会のホームページやフェイスブック、LINEでのお知らせにご注意下さいませようお願いします。(※十二月第一週から三月第二週までは、年末年始二回のお休みを除く毎週金曜日「越冬支援」として夜回りを行います。)

# 第一回 中央委員会報告

中央委員 渡邊 慈海 (西嘉穂組 西蓮寺)

二〇二一(令和三)年度「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

二〇二一(令和三)年七月八日に、第一回中央委員会が開催されました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響でリモート開催となっております。

まず、「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」重点プロジェクトの現況報告がなされました。二〇一八(平成三十)年から募集されている「子どもたちの笑顔のために募金」で集まった第一期・第二期分の募金は、海外開教区寺院の学校支援活動および国内の本願寺派児童養護施設・こども食堂・学習支援等への支援として配分され、今後はさらなる募金奨励のためにキャッシュレス決済を導入していくことが報告されました。

また各教区・教化団体からコロナ禍の状況での取り組みの発表やリモート授業等の普及に伴う子どもたちへの影響についてのレポート等がありました。コロナ禍の状況の中でできることの模索・見えてきた問題等がまとまってきたように思います。

後半では、過去帳開示の問題に多くの時間が割かれました。二〇二一(令和三)年五月、富山教区の住職によって過去帳が開示され、メディアに写真付きで掲載されたことが問題となりました。高岡教

区からは宗派全体の問題として取り組むように求める意見具申がなされています。

寺院の過去帳を開示することは、単なる個人情報の漏洩だけでなく、身元調査に悪用され部落差別をはじめとした人権侵害に加担することになります。また、多くの人に「寺院に行けば過去帳を見せてもらえる」と思われてしまうこと自体にも問題があります。そのため本願寺派では「過去帳またはそれに類する帳簿」について、厳しい運用規定を定めています。しばしばこのような問題が起こっており、僧侶の意識が問われています。

新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式への変化に気を取られ、仏教徒・念仏者としての足元がおろそかになってはいませんか。宗門全体、そして自分自身にも問い直していく姿勢を忘れてはならないと感じました。

キャッシュレス募金は  
こちらのQRコードより  
ご覧ください↓



募金箱は福岡教堂のほか、  
各寺院にも設置されて  
おります。  
ご協力お願い  
いたします。



# 本願寺福岡教堂・福岡教区「親鸞聖人報恩講法要」のお知らせ

今年度も昨年度と同様に法要規模を縮小してお勤めいたします。  
 法要は参拝の割当を設けず教区 TouTube ライブにて配信いたします。  
 パソコン・スマートフォンなどからご視聴ください。

◆期 日 2022 (令和4) 年1月26日(水)～28日(金)

◆日 程 午前 9時30分 帰敬式受付 (28日のみ)  
 午前10時30分 帰 敬 式 (28日のみ)  
 午後 1時 法 要【正信念仏偈作法】  
 午後 2時 御 法 話 (45分×2席)  
 午後 4時 終 了

※午後1時(法要・法話)から午後4時まで動画配信を行います。

◆講 師 谷川 弘顕 師 (兵庫教区神戸湊組高松寺住職 / 本願寺派布教使)

定員に達しましたため、帰敬式の申込受付は終了いたしました。  
 パソコン・スマートフォンをお持ちでなく、参拝をご希望の方はお問い合わせ、ご相談ください。  
 緊急事態宣言の発令等によっては法要及び帰敬式を中止する場合がありますので、予めご了承ください。  
 報恩講・帰敬式については「教区通信ふくおか 第133号」にも掲載しています。どうぞ併せてご覧ください。

## 一言 法話

### 「私を抱き続けてくださるおやさま」

上下組 正福寺 荒木 智照

今年もあと一ヶ月余りとなりました。子どもの頃には長く感じた一年が、歳を重ねる毎に早さを感じます。この様に子どもと大人では、感覚的にも知識的にも違いがありますが、私という人間と仏様でも大きな違いがあるのでしょうか。浄土真宗においてお聞かせ頂くのは、阿弥陀様と仰る仏様のお救いです。阿弥陀様は「あなたに南無阿弥陀仏と称えさせ、極楽の浄土へ往生させて仏と成す」とのおはたらきです。さて、子どもが今自分を抱いてくれているこの人を親であると認識するのは、生後八ヶ月頃であるといわれます。それから「お父さん・お母さん、○○くん・○○さん」と自分を抱き養い育ててくれるこの人こそが親であると知り、その名を呼んでゆきます。しかし、子どもが親であると知り、その名を呼んでも昼夜問わず寝る間も削って守り育ててきました。子どもは当然そんな苦労は知らず、思うがままに過ごして、その間にか親の名を呼びはじめ、また守り育てられてゆくのです。親の名を呼びながら身を任せるその姿は、子どもの方から決めたものではありません。そこには「お父さんだよ、お母さんだよ」と呼び掛けながら守り育て、親となってくださった方はたつきがあつたからなのです。いま私の心に耳に南無阿弥陀仏と聞こえてくださるのも、阿弥陀様の計り知れぬ大変なご苦労と、おはたらきがあられたからでした。

仏様から御覧になった私は、自己中心的で、罪を罪とも知らず、他の心や命を傷つけ、それによってまた自らも傷つきながら生きておるのでしよう。しかし、阿弥陀様は「あなたも仏の子だよ。もう二度と迷い苦しむ事の無い我が浄土へ生まれ、自他共に救ってゆける我と等しき仏と成すよ。我が名を呼び任せよ、必ず救うよ」と遙か遠く昔から、私を抱き続けてくださるおやさまであります。親は「あなたを大人にする」と抱き続けてくださいます。阿弥陀様は「あなたを仏にする」と抱き続けてくださいます。今この時も、南無阿弥陀仏と心に耳に届いてくださる阿弥陀様でありました。

福岡教区教務所の予定表

月	日	曜	時	内容
11月	17	水	10:30	仏教婦人会連盟 若婦人部代表者会 / 14:00 ビハーラ・ライン・福岡 例会
			14:00	第5連区門徒推進員代表者協議会 (WEB)
	18	木	13:00	門徒推進員連絡協議会 役員会
	19	金		第5連区ビハーラ研修会 (WEB併用)
	20	土		第45回九州仏青佐賀大会 (WEB)
	24	水	13:30	仏教婦人会連盟 桑湾・北豊・福岡教区協議会 (WEB) / 15:00 実践運動 寺院機能推進部会
25	木	13:00	全国門推の集い実行委員会 / 14:00 教堂・教区慶讃法要委員会	
30	火		第5連区門徒総代会連絡協議会 (~12月1日迄)	
12月	1	水	14:00	ビハーラ福岡 例会
	3	金	12:00	社会福祉推進協議会 街頭募金
	6	月	14:00	実践運動 門信徒教化部会
	7	火	10:00	仏教婦人会連盟 幹部研修会 (WEB) / 14:00 実践運動 常任委員会
	10	金	14:00	福岡教区地方選挙管理委員会
	14	火	13:30	親鸞聖人讃仰講座 (~15日迄)
	17	金	14:00	布教団 役員会
	20	月	13:00	災害対策委員会
		15:00	組長会	
21	火	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会	
28	火		冬季休業 (~1月6日迄)	
1月	7	金	9:00	業務開始
	12	水	14:00	ビハーラ福岡 例会
	17	月	14:00	実践運動 同朋運動部会
	18	火	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会
	19	水	14:00	社会福祉推進協議会 役員会
	21	金	14:00	護持口数調整委員会
	26	水	13:00	親鸞聖人報恩講法要 (WEB ~28日迄)
28	金	10:30	帰敬式 / カレンダー・関連書籍 販売終了	
2月	1	火	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会
	2	水	15:00	布教団 役員会
	3	木	14:00	社会福祉推進協議会 研修会
	8	火		連研のための研究会
	9	水		ビハーラ福岡 公開講座 / 14:00 実践運動 同朋運動部会
	10	木		青年布教使研修会
	12	土		仏教壮年会連盟中央教修
	14	月	13:00	第16回全国布教使大会 (WEB) / 13:30 親鸞聖人讃仰講座 (~15日迄)
	16	水		声明と雅楽の会 研修会
	17	木		第5連区青年布教使研修会 (佐賀 18日迄)
	19	土		門徒推進員 第2回全員研修会 (公開講座)
	22	火	14:00	社会福祉推進協議会 評議員会
	24	木	15:00	組長会
	25	金	14:00	実践運動 常任委員会
28	月		子ども・若者ご縁づくり推進委員会 研修会	

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、予定は予告なしに変更する場合がございます。時間が記入されていない部分は未定です。各行事開催の最新の状況につきましては主催者へお問い合わせください。ご来堂の折は必ずマスクをご持参・ご着用ください。各種行事に際しましては体温測定も実施いたします。

退職いたしました

山野 尚樹 2021年7月31日をもって退職いたしました。福岡教区の皆様方 (北豊教区 田川下組 西光寺) には大変お世話になりました。ありがとうございました。

編集後記

コロナ禍で一堂に集まるのが難しい中、皆様のおかげによりこの度も教区通信を無事に発行できました。ぜひ本誌を一人でも多くの方の手に取っていただきたいものです。

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 野村 宗雄  
〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2  
電話:092(771)9081